

農業委員会だより

あなたのみちを、
あるけるまち。
八王子

発行：八王子市農業委員会 〒192-8501 八王子市元本郷町三丁目24番1号 TEL 042(620)7402



『会長就任の挨拶』

農業委員会会長 中西 伸夫

【目次】

- 新しい農業委員の紹介 2
- 活動の指針、農業者大会 3
- 農業委員会からのお知らせ 4

日頃より、農業委員会の活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび農業委員の改選が行われ、会長という大役を拝命いたしました。

農業者の代表として、職務に邁進していく所存でございます。

現在、日本の農業は転換期を迎えています。特に、平成29年6月施行の「都市緑地法等の一部を改正する法律」では、生産緑地地区の面積要件や行為制限の取扱いが見直されるとともに、「特定生産緑地制度」の創設によって指定から30年経過以降は、10年単位で指定を受けることが可能になりました。

また、平成30年9月に「都市農地の貸借の円滑化に関する法律」が制定、施行されたことで、これまで進まなかった生産緑地の貸借が活発になっています。

その一方で、市街化調整区域では、担い手の高齢化や後継者不足が顕著になっており、耕作放棄された農地を活用するための取組が求められています。地域の話し合いに積極的に参加し、情報共有を図りながら、意欲と能力のある担い手への農地利用の集積を推進してまいります。

本市の農業は、皆様や先人たちの不断の努力により興隆してきました。これからも八王子の農業が発展できるよう、全委員が一丸となり、農業・農地をめぐる様々な課題に向き合い、更なる農業振興を推進してまいりますので、これからも農業委員会へのご協力をお願い申し上げます。

新たな体制の
農業委員会を
紹介します

平成31年4月13日付で市長から14名の農業委員会委員が任命されました。平成31年4月25日に開催された八王子市農業委員会第1回総会において、会長に中西伸夫氏、会長職務代理者に菱山史郎氏が委員の互選により選出されました。また、担い手への農地利用の集積・集約化など、農地等の利用の最適化のための活動を行う「農地利用最適化推進委員」に8名を委嘱しました。農業者の代表として、農地行政や農業振興に力を注いでまいります。



① ^{よね つ もと いち}
米津 元一
農 業 / 館町
農業委員 / 661-3355



② ^{くま ざわ はる ひこ}
熊澤 治彦
農 業 / 式分方町
農業委員 / 651-7204



③ ^{あお やぎ ゆ き こ}
青柳 有希子
市議会議員 / 館町
農業委員 / 657-2786



④ ^{なかにし のぶ お}
中西 伸夫
農 業 / 小比企町
農業委員 / 635-6807



⑤ ^{はら しま もと よし}
原島 元義
農 業 / 上川町
農業委員 / 654-4431



⑥ ^{あり たけ みつ ぐ}
有竹 満次
農 業 / 堀之内
農業委員 / 676-8716



⑦ ^{こばやし ひろ え}
小林 裕恵
市議会議員 / 横川町
農業委員 / 649-5500



⑧ ^{ひしやま しろう}
菱山 史郎
農 業 / 長沼町
農業委員 / 636-4050



⑨ ^{さかもと しん いち}
坂本 真一
農 業 / 犬目町
農業委員 / 654-3402



⑩ ^{た なか まさ ひろ}
田中 政博
農 業 / 中野山王
農業委員 / 623-4833



⑪ ^{むらまつ とおる}
村松 徹
市議会議員 / みなみ野
農業委員 / 637-2286



⑫ ^{みね お たつ お}
峰尾 達雄
農 業 / 裏高尾町
農業委員 / 661-2704



⑬ ^{やまだ まさし}
山田 正
農 業 / 梅坪町
農業委員 / 691-0871



⑭ ^{かどくら ゆたか}
門倉 豊
農 業 / 上恩方町
農業委員 / 651-3855



⑮ ^{ないとう ひろ ゆき}
内藤 廣行
農 業 / 大和田町
推進委員 / 644-0318



⑯ ^{た なか かずとし}
田中 和敏
農 業 / 小津町
推進委員 / 651-6758



⑰ ^{うちだ しげる}
内田 茂
農業兼不動産管理 / 別所
推進委員 / 676-8863



⑱ ^{ふくだ かずのり}
福田 一訓
農 業 / 上壱分方町
推進委員 / 651-5466



⑲ ^{み かみ まさはる}
三上 正治
農 業 / 下恩方町
推進委員 / 651-3604



⑳ ^{まちだ ひろ みち}
町田 裕通
農 業 / 川口町
推進委員 / 654-2681



㉑ ^{いし かわ けん}
石川 研
農 業 / 高月町
推進委員 / 691-0938



㉒ ^{いの うえ まさよし}
井上 正芳
農 業 / 長房町
推進委員 / 664-7360

(令和元年5月30日付)

- 写真下は、
- ◆ ○議席番号
 - ◆ 氏名(敬称略)
 - ◆ 職業
 - ◆ 住所(町名のみ)
 - ◆ 農委・推委の別
 - ◆ 電話番号

ご相談の際は、お近くの委員、
または農業委員会事務局まで
お願いいたします。

1 担い手への農地の利用集積・集約化

- ①認定農業者制度の啓発及び掘り起こしの推進
- ②農地所有者へ農業・農地の諸制度等の情報提供
- ③農業者との意見交換会の開催
- ④効率的な農地情報の発信と把握

2 新たに農業経営を営もうとする者の参入促進

- ①広報、ホームページ等を活用した八王子農業の特長及び農地制度に関する情報の発信
- ②研修受け入れに前向きな農家に対する情報提供

平成31年度(2019年度)の目標及び活動計画

農業委員会では、許可や届出受理などの法令事務にあたるとともに、担い手への農地の利用集積・集約化を推進するため、今年度の目標とその目標を達成するための活動計画を定めました。

3 遊休農地に関する措置

- ①農地利用状況調査の効率的な実施体制の確立
- ②生産緑地管理状況調査の実施
- ③農地バンク制度への登録促進

4 農地制度の周知及び適正な農地利用の促進

- ①広報等を活用した制度改正等に関する情報提供
- ②違反転用に関する通報への随時対応、定期的な指導
- ③東京都との連携による原状回復に向けた指導

第60回東京都農業委員・農業者大会

平成31年2月22日、KOTORIホール（昭島市民会館）において、第60回東京都農業委員・農業者大会が開催されました。大会では、東京農業の確立に関する要望、都市農業の振興と都市農地保全に関する要望、農業委員会活動の積極的推進に関する決議について協議しました。

また記念行事として、顕彰事業等の授賞式が行われました。本市からは、企業的農業経営顕彰の1名、農業後継者顕彰の1名、農業功労者の1名に賞状が授与されました。

受賞された皆様は次のとおりです。おめでとうございます。

◆企業的農業経営顕彰

（全国農業会議所会長賞・東京都農業会議会長賞）

門 倉 義 則 氏

平成10年に就農。トマト、キャベツ、ブロッコリー、パプリカなどを中心に栽培し、主に市場へ出荷している。平成12年から4年間、JA八王子青壮年部の副部長を歴任した。JA共販出荷組合に所属し、現在はトマト部会の部長を務めている。また、地元スーパーの野菜コーナーに地場産野菜で作った宝船の設置を企画するなど、地域農業を積極的にPRしている。

【祝賀会の様子】

上段左から
門倉義則氏、平智之氏
下段は馬場信幸氏



◆農業後継者表彰

（全国農業会議所会長賞・東京都農業会議会長賞）

平 智 之 氏

平成22年に就農。ハウレンソウ、トマトを中心に栽培し、地元のスーパーに出荷している。平成22年からJA八王子青壮年部に所属し、翌年からとうきょう元気農場生産組合に所属している。経営効率向上に向け、自身の販売実績等をデータ管理や分析を行い、少量での販売が可能な直売所へ出荷することで無駄のない販路を確保している。

◆農業功労者表彰

馬 場 信 幸 氏

平成3年に就農。父のもとで農業技術を習得した。自宅前の畑では、四季折々の野菜を栽培し、JA八王子園芸センターのほか、市内スーパーへ出荷している。平成26年には、地元川口地区の野菜部会長に就任し、平成29年からはJA八王子野菜部会長を務めている。自身の農業経営の傍ら、地区の野菜農家の調整役として奔走している。

各種調査を実施

◆ 農作物生産状況調査を実施

東京都では、農業の現状を正確に把握するため、農業委員会を通じて農作物生産状況調査を行っています。本年も以下のとおり実施しますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

1 調査形式

書面（調査票）による調査。

2 調査時期

8月上旬までに農業委員会から調査票を送付します。調査票に必要事項を記入し、8月下旬までに同封の返信用封筒にて返信してください。

3 調査内容

平成30年中の農作物に関する作付延べ面積、出荷量及び販売方法（出荷先など）に関する調査です。



▲生産緑地の管理状況を確認する農業委員



▲耕作放棄され、管理が十分にされていない農地

◆ 生産緑地パトロールを実施

生産緑地については、管理状況確認という観点から、毎年調査を行っています。近年、生産緑地に関する法律が改正され、都市にある農地は、良好な緑空間を創出し、潤いのある豊かな都市をつくる上で「欠かせないもの」とされ、より一層適正な管理が求められています。

多くの生産緑地は適正に肥培管理されていますが、一部に管理が不十分な生産緑地も見受けられます。また、農業経営に無関係な工作物の設置等は、規模の大小に関わらず認められません。生産緑地の指定を受けた農地をお持ちの方は、適正な維持管理をお願いします。

◆ 農地利用状況調査を実施

遊休農地の発生防止を目的として、農地法第30条では、農業委員会は毎年一回その区域内にある農地の利用状況についての調査を行わなければならないとされています。八王子市でも毎年、農業委員会委員、農地利用最適化推進委員、事務局職員が利用状況調査を行います。なお、管理状況が不十分な農地の所有者に対しては、農地法第32条に基づき利用意向調査書を送付しますので、ご協力をお願いします。

Topics

農業委員会視察研修報告

平成31年2月4日、5日に先進事例視察研修を実施しました。今回は16名の委員が参加し、最新の農業技術や棚田のオーナー制度等の事例を学ぶため、千葉県「雪印種苗(株)」や「大山千枚田」を視察しました。雪印種苗では、2年前から牛の飼育を全て北海道に移し、現在は、様々な作物の実験的な栽培に取り組んでいます。また、大山千枚田は、急斜面地に連なる田んぼが雨水のみで耕作されており、オーナー制度が設けられていることで適正に管理されていました。

最新の農業技術やオーナー制度など、これからの都市農業を進めて行くうえで大変参考になりました。



◀オーナー制度が導入された棚田

農業委員会事務局職員の紹介

平成31年4月に職員の異動がありました。新たに配属された職員を紹介します。



事務局職員として、精一杯頑張っていきますのでよろしくお願いします。

◀中央が山崎光嘉 事務局長、右が小池幸治 主任、左が岩佐達憲 主事

農業委員会活動日誌

平成31年度(2019年度) 農業委員会総会 開催状況

総会開催日	専決処分案件	審議案件	報告案件
第1回(4月26日)	5件	1件	1件
第2回(5月30日)	4件	3件	3件

【主な活動実績】

- 農業委員会視察研修会(31.2.4.5)
- 第60回東京都農業委員・農業者大会(31.2.22)
- 南多摩地区農業委員会協議会「講演会」(31.3.26)

「農業者年金」へ加入しませんか？

「全国農業新聞」を読みませんか？

お申込み・お問い合わせは農業委員会事務局まで。